

6月23日～29日は男女共同参画週間です。
男女共同参画週間パネル展



荻野吟子
日本の公認女性医師第1号

(写真提供:熊谷市立熊谷図書館)



西崎キク
女性水上飛行機操縦士第1号

(写真提供:上里町立郷土資料館)



辻村みちよ
女性農学博士第1号

(写真提供:桶川市)

埼玉ゆかりの偉人たち ～荻野吟子・西崎キク・辻村みちよ～

女性の社会的地位も低く職業の選択もほとんど認められなかった時代に、さまざまな困難を乗り越え、自らの道を切り拓いていった3人の女性たち。自らの夢をかなえるとともに女性の地位向上に大きく貢献した彼女たちの生涯をパネル等でご紹介します。



埼玉県マスコット
「さいたまっち」 & 「コバトン」

期 間

令和7年**6月17日** (火) ～ **7月13日** (日)

※ 6月19日は休館日

場 所

With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)
4階活動発表コーナー (入場無料)

◆令和7年6月17日(火)～30日(月)県庁3階渡り廊下でも展示を行います。

主催:埼玉県男女共同参画推進センター
協力:県文化振興課、桶川市、上里町立郷土資料館
上里町アドバイザー紙芝居部

☎ 048-601-3111
✉ m013111@pref.saitama.lg.jp

荻野吟子（日本の公認女性医師第1号）

嘉永4年（1851年）、幡羅群俵瀬村（現熊谷市）で生まれる。

不慮の病に罹り婦人科の治療を受けたことから、女性医師の必要性を痛感し、医師となることを決意する。当時、女性には医術開業試験の受験が認められておらず、制度改正に奔走するなど様々な困難を乗り越え明治18年（1885年）、医術開業試験に合格、日本で最初の公認女性医師となる。開業後は、診療活動に加え、婦人解放運動等の社会的活動も担い、女性の地位向上や衛生知識の普及にも大きく貢献した。

（写真提供：お茶の水女子大学）



東京女子師範学校卒業時の荻野吟子
（上段後列左端）

西崎キク（女性水上飛行機操縦士第1号）

大正元年（1912年）、児玉郡七本木村（現上里町）で生まれる。

埼玉県女子師範学校を卒業後、尋常小学校の教師（訓導）となる。群馬県の飛行場の情景に接して、教師を辞め飛行家を志し東京の第一飛行学校へ入学。その後安藤飛行機研究所の練習生となり、免許を取得し日本女性初の水上飛行操縦士となる。さらに昭和9年陸上機免許を取得し、同年満州訪問飛行を行い日本女性としてはじめて海外飛行を達成する。晩年は社会教育指導員となり、主に婦人教育を担当し、地域の女性の生活・文化の向上に尽力した。

（写真提供：上里町立郷土資料館）



安藤飛行機研究所卒業写真
（上段右端が西崎キク）

辻村みちよ（女性農学博士第1号）

明治21年に北足立郡桶川宿（現桶川市）で生まれる。

東京女子高等師範学校を卒業後、師範学校等の教師を勤める。研究者への思いを捨てきれず教師を辞め、北海道帝国大学への入学を希望するが、当時同大学は女性に入学を許可しない時代であったため無給助手（助手）として食品研究室に入る。その後東京帝国大学医学部を経て理化学研究所員となり、緑茶に関する研究に取り組み、緑茶中のカテキンの発見、さらにはタンニンの分子構造を明らかにし、昭和7年東京帝国大学から農学博士の学位が与えられ日本発の女性農学博士となる。（写真提供：桶川市）



日本初の女性農学博士となる



問合せ

With You さいたま
（埼玉県男女共同参画推進センター）

埼玉県さいたま市中央区新都心2-2
（ホテルブリランテ武蔵野3・4階）

☎ 048-601-3111

✉ m013111@pref.saitama.lg.jp



ホームページ



Facebook

さいたま新都心駅から徒歩5分
北与野駅から徒歩6分

※ 駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。